日刊 動労千葉

80.9.11

No. 531

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一一八（動力車会館）
（鉄電）二三五八～九・（公衆）〇四七二(22)七二〇七

三里塚・ジェット闘争貫徹！「国鉄35万人体制」粉砕！

『55・10⇒56・3』反合＝ジェットの勝利をかけて 9・15全力で三里塚へ

9・15は直前に迫った。全ての組合員の皆さん！ 現地三里塚からの呼びかけに応え「56・3」へむけた新たな闘いの高揚をつくりだすべく、全力で9・15三里塚に結集しよう！

反動鈴木体制を三里塚でうち倒せ！

9・15三里塚への全力決起をかちとっていくために確認すべき第一の点は、反動鈴木体制が全体重をかけて二期攻撃を開始しているという事である。すでにアプローチエリアのための埋立工事を強行し「農振策」「騒特法」をふりかざしての反対同盟への分断破壊、周辺農民追い出し策動に抗し、現地では全力決起のシ烈な闘いに突入している。

第二の点は、鈴木内閣による今日のすさまじい侵略と反動＝軍事大国化攻撃をぶち破る闘いの唯一・最大の突破口が、9・15を起点とする今秋三里塚闘争の一大高揚にかかっているという事である。反動鈴木体制の狙っているものこそ①三里塚二期完成を軸に一挙に日本帝国主義の最弱の環＝航空宇宙産業・自力の軍需産業開発を狙い、②あわせて闘いの砦＝三里塚闘争の圧殺を突破口にして、これまでの支配の力関係を全面的に反動的に逆転させ、侵略体制・暗黒支配体制を強引につくり上げようという点にある。

第三に、この九月に入り死刑判決策動が急速に早まっていると伝えられる金大中氏らへの攻撃を許さず、光州はじめ闘う朝鮮人民と固く連帯する日本での決起こそ9・15三里塚闘争だという事である。

55・10反合＝ジェットの勝利をかけ9・15へ！

第四に最も重要な事は、9・15を突破口とする今秋三里塚闘争の爆発こそが、わが動労千葉の最大の課題である「来年三月、ジェット延長阻止闘争」をわれわれの主導権の下に引きよせ、勝利への陣地を築く決定的軸である事。現在われわれは、「55・10合理化粉砕」の闘いを「56・3」への先制的闘いとしてとらえ、大きな勝利を切りひらきつつ前進している。この「55・10反合＝ジェット闘争」の勝利を切りひらくものこそ、9・15の大結集である。

「56・3」を前に、土屋粋らの破廉恥な「ジェット決議」までかつぎ出しての「本部」反動分子の新たな敵対策動を許さず、労農連帯の複高く、9・15三里塚へ総決起しよう！

四月期 定数補充交渉 行われる

九月九日、交渉部は本年度四月期定数補充交渉を行いました。交渉の席上当局は次の内容の提案をしてきました。

1. 定数補充可能数

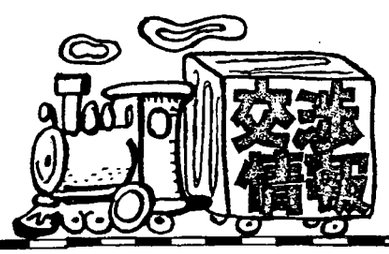
転名／転群	事務掛	動力車乗務員	車両検査長	車両検査係	車両検修係	運転管理係	構内計画係	運転係	構内運転係
10	3	24	2	4					
9	3	33		8				1	
8	5	33				1	1		
7	4				1			4	7
6以下					38				

※6転群以下は、昇格基準年数の6ヶ月短縮措置とする。

2. 事務作業日程

- 現場通達・9月16日
- 現場上申・9月26日
- 発　令・10月20日
- 精算払い・ベースアップ差額支払い時

組合は、当面事務作業のみを了解とし、今後は各支部での現場協議で組合主張による昇格該当者を局に上申させる取組みを行うこととした。したがって各支部は現場協議での要求のおしこみをはかられたい。　以上。



全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！